

第 4 号議案

## 平成31年度舞鶴市下水道事業会計予算

( 総 則 )

第1条 平成31年度舞鶴市下水道事業会計の予算は、次に定めるところによる。

(業務の予定量)

第2条 業務の予定量は、次のとおりとする。

(1)	水 洗 化 戸 数	38,200戸
(2)	年 間 総 排 水 量	10,069,300 <sup>m</sup>
(3)	1 日 平 均 排 水 量	27,500 <sup>m</sup>
(4)	主要な建設改良事業	
	管 渠 建 設 費	596,112千円
	管 渠 整 備 費	216,646千円
	処 理 場 整 備 費	286,749千円
	浄 化 槽 建 設 費	37,097千円
	雨 水 処 理 費	154,663千円

(収益的収入及び支出)

第3条 収益的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

		収 入	
第1款	下水道事業収益	3,531,300千円	
第1項	営 業 収 益	1,207,088千円	
第2項	営 業 外 収 益	2,324,210千円	
第3項	特 別 利 益	2千円	
		支 出	
第1款	下水道事業費用	3,551,700千円	
第1項	営 業 費 用	3,138,253千円	
第2項	営 業 外 費 用	406,270千円	
第3項	特 別 損 失	6,677千円	
第4項	予 備 費	500千円	

(資本的収入及び支出)

第4条 資本的収入及び支出の予定額は、次のとおりと定める。

(資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額1,191,500千円は、消費税及び地方消費税資本的収支調整額44,285千円、損益勘定留保資金1,147,215千円で補てんするものとする。)

収 入

第1款 資本的収入	2,356,950千円
第1項 企業債	1,733,500千円
第2項 他会計補助金	89,391千円
第3項 補助金	286,904千円
第4項 出資金	238,779千円
第5項 負担金	8,375千円
第6項 固定資産売却代金	1千円

支 出

第1款 資本的支出	3,548,450千円
第1項 建設改良費	1,293,138千円
第2項 償還金	2,255,112千円
第3項 積立金	200千円

(債務負担行為)

第5条 債務負担行為をすることができる事項、期間及び限度額は、次のとおりと定める。

事 項	期 間	限 度 額
公共下水道事業費 (東浄化センター汚泥処理設備改築分)	自 平成31年度 至 平成32年度	千円 400,000
雨水処理事業費 (ポンプ場整備分)	自 平成31年度 至 平成33年度	300,000
平成31年度舞鶴市土地開発公社が舞鶴市に代わって用地取得等を行うための事業資金の借入れに対する債務保証	自 平成31年度 至 平成32年度	31,000
平成31年度公共用地等取得事業費	自 平成31年度 至 平成32年度	31,000

(企業債)

第6条 起債の目的、限度額、起債の方法、利率及び償還の方法は、次のとおりと定める。

起債の目的	限 度 額	起債の方法	利 率	償 還 の 方 法	
建設改良費等	千円 1,136,500	ただし発行価格が額面を下まわるときは、その発行価格差減額をうめるため必要な金額をこれに加算した額	証書借入又は証券発行、ただし証券発行の方法による場合においては、発行価格は額面金額100円につき99円以上とする。	5.0%以内 ただし、利率見直し方式による借り入れについて、利率の見直しを行った後においては、当該見直し後の利率	公的資金については、その融通条件により、民間等資金の場合には、その債権者と協定するものとする。ただし企業財政の都合により、据置期間及び償還期限を短縮し、もしくは繰上償還又は低利に借換することができる。
資本費平準化債	597,000	同上	同上	同上	
計	1,733,500				

(一時借入金)

第7条 一時借入金の限度額は、1,500,000円と定める。

(予定支出の各項の経費の金額の流用)

第8条 予定支出の各項の経費の金額を流用することができる場合は、次のとおりと定める。

(1) 営業費用と営業外費用との間

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費)

第9条 次に掲げる経費については、その経費の金額を、それ以外の経費の金額に流用し、又はそれ以外の経費をその経費の金額に流用する場合は、議会の議決を経なければならない。

(1) 職員給与費 282,074円

(他会計からの補助金)

第10条 下水道事業の財源に充当するため、一般会計からこの会計へ補助を受ける金額は、1,398,487円である。

平成31年2月27日 提出

舞鶴市長 多々見 良三

